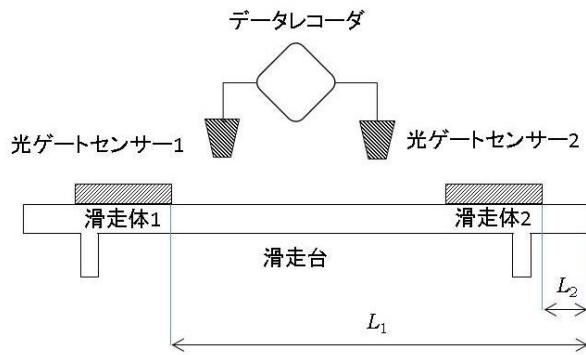


実験のレシピ（運動量保存の法則）

目的 衝突前から衝突後までの滑走体の運動をデータ収録する。

1. 遮光板の長さはあらかじめ測定してある。滑走体におもりの載せ、質量を測定する。



2. 送風機のスイッチを入れ、測定画面の開始ボタンを押す。このとき、前の測定データが表示されていると保存するかを問われる。「いいえ」を選択すると、測定が開始される。
3. 測定が始まったら（グラフが描かれ始まったら）滑走体を光ゲートセンサーの外側に置き滑走体を放す。このとき、2つの光ゲートセンサーの間で滑走体同士が衝突させる。
4. 参考動画の手順に従って、滑走体の速度をノートに記録する。実験をやり直したい場合があつても、まずはノートに記録して、3から実験を行う。
5. 時間があれば、おもりの質量を変えて実験を行う。
6. 測定が終わったら、ノートに運動量を計算する。